

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	福岡県の歴史	福岡県の水土整備の歴史
原始	-7000(縄文時代)			
	-400(縄文時代)			
古墳・飛鳥時代	前1世紀(弥生時代)	・近畿まで稲作が北進する		
	3世紀(弥生時代)	・稲作の北進 本州北端(青森)まで		
	239(3世紀)	・邪馬台国卑弥呼[親魏倭王]の称号を受ける		
	300(4世紀頃)			
	500(6世紀当初)			
	609(推古17年)		・『日本書紀』に筑紫大宰の名がはじめてみえる	
	645(大化元年)	・大化の改新		
	646(大化2年)	・班田収授の法を制定 ・公地公民制を宣言 ・租・庸・調を定める		
	661(斉明7年)		・斉明天皇、朝倉宮に崩ずる	
	664(天智3年)		・この年、対馬・壱岐・筑紫に防人と烽をおき、筑紫に水城をきづく	
	694(持統8年)	・藤原京に遷都		
	701(大宝元年)	・大宝律令	・筑前国の名がはじめてみえる	
	702(大宝2年)			
	707(慶雲4年)		・筑後国の名がはじめてみえる	
奈良時代	710(和銅3年)	・平城京に遷都		
	722(養老6年)	・墾田100万町歩の開墾を計画する		
	723(養老7年)	・墾田の開発をすすめ、用益の年限をきめる(三世一身法)		
	740(天平12年)		・太宰少貳藤原広嗣、反乱をおこす	
	741(天平13年)			
	743(天平15年)	・墾田を私財とする事を許す(墾田永世私有令)		
	746(天平18年)			
	757(天平宝字元年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	福岡県の歴史	福岡県の水土整備の歴史
	765 (天平神護元年)	・寺院以外の墾田開発を禁止		
	771 (宝亀2年)		・筑前国の官員をやめ、太宰府に隸する	
	784 (延暦3年)	・長岡京に遷都		
平安時代	794 (延暦13年)	・平安京に遷都		
	808 (大同3年)		・筑前国司を復置する	
	821 (弘仁12年)	・空海、満濃池を作る		
	901 (延喜1年)		・右大臣菅原道真を太宰権帥に左遷	
	902 (延喜2年)	・延喜の荘園整理令		
	927 (延長5年)	・『延喜式』完成		
	平安時代	・平安中期の耕地面積862,767町		・豊前国:耕地13,200町、筑前国:耕地18,500町、筑後国:耕地12,800町、耕地計44,500町
	1017 (寛仁元年)	・藤原道長が太政大臣となる		
	1045 (寛徳2年)	・寛徳の荘園整理令		
	1062 (康平5年)	・前九年の役平定(安部氏亡ぶ)		
	1069 (延久元年)	・延久の荘園整理令		
	1086 (応徳3年)	・白河上皇、院政を始める		
	1087 (寛治元年)	・後三年の役平定		
	1156 (保元元年)	・保元の乱		
1159 (平治元年)	・平治の乱			
1167 (仁安2年)	・平清盛、太政大臣となる			
鎌倉時代	1183 (寿永2年)		・平宗盛、安徳天皇を奉じて太宰府に至る	
	1185 (文治元年)	・守護、地頭を設置	・平氏壇ノ浦に滅ぶ	
	1192 (建久3年)	・源頼朝、征夷大將軍となる		
	1197 (建久8年)		・豊前国、「図田帳」を作成	
	1221 (承久3年)	・承久の乱		
	1232 (貞永元年)	・北条泰時、関東御成敗式目(貞永式目)制定		
	1274 (文永11年)	・文永の役[蒙古襲来]	・元軍、今津にくる、ついで博多にせまる、少弐経資、諸士を率いて奮戦、筥崎宮、博多の町焼亡、元軍退却	

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	福岡県の歴史	福岡県の水土整備の歴史
代	1276 (建治2年)		・この年、異国警固石築地を博多海岸にきづく	
	1281 (弘安4年)	・弘安の役[蒙古襲来]	・元・高麗の軍船、志賀島・能古島に来襲、大暴風雨によって元の船多く沈没	
	1297 (永仁5年)	・永仁の徳政令発布		
	1299 (正安1年)		・鎮西探題の機構整備される	
	1316 (正和5年)		・少弐貞経、筑前国地頭に命じて博多前浜石築地を修固させる	
	1333 (元弘3年)	・鎌倉幕府滅亡		
室町時代	1334 (建武元年)	・建武の中興		
	1336 (建武3年)	・後醍醐天皇、吉野に移る(南北朝分裂)		
	1338 (延元3年)	・足利尊氏、征夷大將軍となる		
	1368 (応安元年)	・足利義満、征夷大將軍となる		
	1392 (明德3年)	・南北朝の合一		
	1428 (正長元年)	・正長の土一揆		
	1467 (応仁元年)	・応仁の乱起こる		
	1488 (長享2年)	・加賀一向一揆		
	室町時代	・室町期の耕地面積854,791町		・豊前国:耕地12,765町、筑前国:耕地11,760町、筑後国:耕地22,828町、耕地計47,353町
	1506 (永正3年)			
	1543 (天文12年)	・種子島に鉄砲伝来		
1550 (天文19年)		・フランシスコ・ザビエル、博多にくる		
1559 (永禄2年)		・大友宗麟、豊前・筑前の守護となる、宗麟、九州探題に任じられる		
1573 (天正元年)	・室町幕府滅びる			
	1581 (天正9年)			
	1582 (天正10年)	・本能寺の変 ・太閤検地始まる(～'98)		
	1585 (天正13年)	・豊臣秀吉、関白となる		
	1587 (天正15年)		・豊臣秀吉、筑前を平定する	

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	福岡県の歴史	福岡県の水土整備の歴史
安土・桃山時代			・秀吉、小早川隆景に筑前・筑後などをあたえ、豊前2郡を毛利勝信、6郡を黒田孝高にわたえる	
	1588(天正16年)	・刀狩、封建的身分制、兵農分離		
	1590(天正18年)		・秀吉の天下統一なる	
	1595(文禄4年)		・小早川秀秋、隆景の跡をつぎ、筑前1国と筑後・肥前の一部を領す	
	1600(慶長5年)	・関ヶ原の戦い	・関ヶ原の戦い、小早川秀秋、備前岡山に転封、黒田長政(筑前)・田中吉政(筑後)・細川忠興(豊前および豊後の一部)入部	
	1601(慶長6年)			
	1602(慶長7年)			
	1603(慶長8年)	・徳川家康、征夷大將軍に任命され、江戸幕府を開く		
	1604(慶長9年)			
	1605(慶長10年)			・佐久堰(三潁郡)*5
	1606(慶長11年)			
	1607(慶長12年)			
	1608(慶長13年)			
	1609(慶長14年)			
	1610(慶長15年)			
	1611(慶長16年)			
	1612(慶長17年)			
	1613(慶長18年)			
	1614(慶長19年)	・大阪冬の陣		
	1615(元和元年)	・大阪夏の陣 ・武家諸法度、禁中並公家諸法度を定める		・福永川(糸島郡、灌漑面積400町)*5 元和年間:高田新開*2
	1616(元和2年)			
	1617(元和3年)			
	1618(元和4年)			
	1619(元和5年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	福岡県の歴史	福岡県の水土整備の歴史
	1620(元和6年)		・田中吉政没、世嗣がないため改易、立花宗茂(柳川)・有馬豊氏(久留米)、そのあとを領する	
	1621(元和7年)			
	1622(元和8年)		・紅粉屋新田を開拓	
	1623(元和9年)			
	1624(寛永元年)			
	1625(寛永2年)			
	1626(寛永3年)			
	1627(寛永4年)			
	1628(寛永5年)			
	1629(寛永6年)			
	1630(寛永7年)			
	1631(寛永8年)			
	1632(寛永9年)			
	1633(寛永10年)			
	1634(寛永11年)			
	1635(寛永12年)			
	1636(寛永13年)			
	1637(寛永14年)		・島原の乱、久留米・柳川・福岡・小倉藩出兵	
	1638(寛永15年)			
	1639(寛永16年)	・鎖国令		
	1640(寛永17年)			
	1641(寛永18年)			
	1642(寛永19年)			
	1643(寛永20年)	・田畑永代売買禁止令		
	1644(正保元年)			
	1645(正保2年)			
	1646(正保3年)			
	1647(正保4年)			・多田羅開作*2

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	福岡県の歴史	福岡県の水土整備の歴史
	1648(慶安元年)			
	1649(慶安2年)	・地方五役5人組制度		
	1650(慶安3年)			
	江戸時代前期			・福岡藩43万石、久留米藩21万石、小倉藩15万石、柳川藩11万石、秋月藩5万石、東蓮地藩4万石
	1651(慶安4年)			
	1652(承応元年)			
	1653(承応2年)	・幕府、玉川上水開削を許し、費用を与える		
	1654(承応3年)			
	1655(明暦元年)			
	1656(明暦2年)			・花木堰(鞍手郡)*5
	1657(明暦3年)			
	1658(万治元年)			
	1659(万治2年)			
	1660(万治3年)			
	1661(寛文元年)			・寛文年間:古開、四丁開、中開*2
	1662(寛文2年)			
	1663(寛文3年)			・山田堰(恵蘇宿井堰)(朝倉郡)*5
	1664(寛文4年)		・浮羽郡の大石・長野水道完成	・大石長野堰(浮羽郡)*5
	1665(寛文5年)			・桑原新開(糸島郡、13町)*5
	1666(寛文6年)	・山川掟の発令		
	1667(寛文7年)			
	1668(寛文8年)			
	1669(寛文9年)			
	1670(寛文10年)			
	1671(寛文11年)			
	1672(寛文12年)			・袋野堰(浮羽郡、灌漑面積170町)*5
	1673(延宝元年)			
	1674(延宝2年)	・分地制限法		
	1675(延宝3年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	福岡県の歴史	福岡県の水土整備の歴史
	1676 (延宝4年)			
	1677 (延宝5年)			
	1678 (延宝6年)			
	1679 (延宝7年)			
	1680 (延宝8年)			
	1681 (天和元年)			・天和年間: 西牟田堰(三潯郡)*5
	1682 (天和2年)		・柳川藩、農民の開墾地売買を許す	
	1683 (天和3年)			
	1684 (貞享元年)	・河村瑞賢、淀川下流の治水事業に着手(~85)		・千早新田(糸島郡、40町)*5
	1685 (貞享2年)			
	1686 (貞享3年)			
	1687 (貞享4年)	・田畑永代売買禁止を再令する		・今出埋立地(糸島郡、60町)*5 ・黒崎開(干拓)*2
	1688 (元禄元年)			・元禄年間: 水崎塩浜(糸島郡、15町)*5
	1689 (元禄2年)			
	1690 (元禄3年)			
	1691 (元禄4年)			
	1692 (元禄5年)			
	1693 (元禄6年)		・筑後黒崎開完成(柳川藩)	
	1694 (元禄7年)			
	1695 (元禄8年)			
	1696 (元禄9年)	・宮崎安貞「農業全書」刊		
	1697 (元禄10年)		・宮崎安貞「農業全書」刊行	・元禄開(糸島郡、38町)*5
	1698 (元禄11元年)			
	1699 (元禄12年)			
	1700 (元禄13年)			
	1701 (元禄14年)			
	1702 (元禄15年)			
	1703 (元禄16年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	福岡県の歴史	福岡県の水土整備の歴史
	1704(宝永元年)	・大和川の付替工事開始		
	1705(宝永2年)	・大和川旧河道新田開発		
	1706(宝永3年)			
	1707(宝永4年)	・富士山噴火、宝永山できる		
	1708(宝永5年)	・貝原益軒『大和本草』		
	1709(宝永6年)	・新井白石を登用する		
	1710(宝永7年)			
	1711(正徳元年)			
	1712(正徳2年)			・床島堰(三井郡)*5
	1713(正徳3年)			
	1714(正徳4年)		・床島堰完成	
	1715(正徳5年)			
	1716(享保元年)	・徳川吉宗、第8代将軍となる		
	1717(享保2年)			
	1718(享保3年)			
	1719(享保4年)			
	1720(享保5年)			
	1721(享保6年)	・目安箱の設置		
	1722(享保7年)	・新田開発の奨励		・山田堰の閘門を改築(朝倉郡)*5
	1723(享保8年)			
	1724(享保9年)			
	1725(享保10年)			
	1726(享保11年)	・新田検地条目の制定		
	1727(享保12年)			
	1728(享保13年)			
	1729(享保14年)			
	1730(享保15年)			
	1731(享保16年)			
	1732(享保17年)	・山陽・南海・西海・畿内蝗害のため大飢饉		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	福岡県の歴史	福岡県の水土整備の歴史
江戸時代	1733 (享保18年)			
	1734 (享保19年)			
	1735 (享保20年)	・幕府、米価下落を防ぐため最低価格を決める		
	1736 (元文元年)			
	1737 (元文2年)			
	1738 (元文3年)			
	1739 (元文4年)			
	1740 (元文5年)			
	1741 (寛保元年)			
	1742 (寛保2年)			
	1743 (寛保3年)			
	1744 (延享元年)			
	1745 (延享2年)			
	1746 (延享3年)			
	1747 (延享4年)			
	1748 (寛延元年)			
	1749 (寛延2年)	・定免制を全面的に施行		
	1750 (寛延3年)			
	江戸時代中頃	・江戸中期の耕地面積: 田1,695,923町、畑1,417,074町、計3,013,546町		<ul style="list-style-type: none"> ・豊前国: 田21,809町、畑10,319町、計32,128町 ・筑前国: 田34,907町、畑14,967町、計49,874町 ・筑後国: 田22,133町、畑8,024町、計30,157町 ・田計78,849町、畑計33,310町、合計112,159町
	1751 (宝暦元年)		・福岡藩、上座郡に櫛を植え櫛畑村をつくる	
1752 (宝暦2年)			・四町開(糸島郡)*5	
1753 (宝暦3年)				
1754 (宝暦4年)				
1755 (宝暦5年)	・木曾川の治水工事完成			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	福岡県の歴史	福岡県の水土整備の歴史
	1756(宝暦6年)			
	1757(宝暦7年)		・石原宗祐、猿喰新地の開作をはじめ	
	1758(宝暦8年)			
	1759(宝暦9年)			・山田堰の拡張(朝倉郡)*5
	1760(宝暦10年)			
	1761(宝暦11年)			
	1762(宝暦12年)			
	1763(宝暦13年)			・花木堰の大改修(鞍手郡)*5
	1764(明和元年)			
	1765(明和2年)			
	1766(明和3年)			
	1767(明和4年)			
	1768(明和5年)			
	1769(明和6年)			
	1770(明和7年)			
	1771(明和8年)			
	1772(安永元年)	・田沼意次、老中となる		・岡森堰(鞍手郡)、白門井手(嘉穂郡、灌漑面積140町)*5
	1773(安永2年)			
	1774(安永3年)			
	1775(安永4年)			
	1776(安永5年)			
	1777(安永6年)			
	1778(安永7年)			
	1779(安永8年)			
	1780(安永9年)			
	1781(天明元年)			
	1782(天明2年)	・下総印旛沼干拓に着手 ・瀬戸内・九州など大凶荒	・この年前後、小倉藩にて日明新地・中島新地など開作	
	1783(天明3年)	・浅間山大噴火		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	福岡県の歴史	福岡県の水土整備の歴史
		・冷害のため諸国大飢饉		
	1784(天明4年)	・この春夏諸国飢饉、農民流亡のため農村荒廃		
	1785(天明5年)	・奥羽飢饉		
	1786(天明6年)	・下総手賀沼開発に着手するも、間もなく中止 ・老中田沼意次失脚 ・諸国大凶作		
	1787(天明7年)	・松平定信、老中就任 ・寛政の改革が始まる		
	1788(天明8年)			
	1789(寛政元年)	・困米の制を定める		・寛政年間:室見川東岸庄の開田(福岡市、14町)、山田堰の大修築(朝倉郡、灌漑面積649町)*5
	1790(寛政2年)			
	1791(寛政3年)			
	1792(寛政4年)			
	1793(寛政5年)			
	1794(寛政6年)			
	1795(寛政7年)			
	1796(寛政8年)		・小倉藩、石原宗祐に命じ、曾根新田の干拓を行わせる	
	1797(寛政9年)			
	1798(寛政10年)			
	1799(寛政11年)			
	1800(寛政12年)	・伊能忠敬、蝦夷地を測量する		
	1801(享和元年)			
	1802(享和2年)			
	1803(享和3年)			
	1804(文化元年)			
	1805(文化2年)			
	1806(文化3年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	福岡県の歴史	福岡県の水土整備の歴史
	1807(文化4年)			
	1808(文化5年)			
	1809(文化6年)		・伊能忠敬、豊前測量	
	1810(文化7年)			
	1811(文化8年)			
	1812(文化9年)			
	1813(文化10年)			
	1814(文化11年)			
	1815(文化12年)			
	1816(文化13年)			
	1817(文化14年)	『農具便利論』		
	1818(文政元年)			
	1819(文政2年)			
	1820(文政3年)			
	1821(文政4年)	・伊能忠敬、『大日本沿海実測地図』完成		
	1822(文政5年)			
	1823(文政6年)			
	1824(文政7年)			
	1825(文政8年)			
	1826(文政9年)			
	1827(文政10年)			
	1828(文政11年)			
	1829(文政12年)			
	1830(天保元年)			・天保年間:一本木堰・天道堰(飯塚市)*5
	1831(天保2年)	・諸国石高を調査する		
	1832(天保3年)			
	1833(天保4年)	・この冬、風水害により奥羽・関東飢饉		
	1834(天保5年)	・諸国飢饉		
	1835(天保6年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	福岡県の歴史	福岡県の水土整備の歴史
	1836(天保7年)	・諸国飢饉、奥羽地方最も甚だしく死者10万人に及ぶ		
	1837(天保8年)	・大塩平八郎の乱 ・この春、諸国飢饉、餓死多数		
	1838(天保9年)			
	1839(天保10年)	・この年、奥羽飢饉、死者・流民多数		
	1840(天保11年)			
	1841(天保12年)	・天保改革はじまる		
	1842(天保13年)			
	1843(天保14年)	・印旛沼開墾開始		・岡森堰の拡張・新溝浚渫(鞍手郡、灌漑面積257町)*5
	1844(弘化元年)	・印旛沼開墾中止		
	1845(弘化2年)			
	1846(弘化3年)			
	1847(弘化4年)	・信州大地震(善光寺地震)		
	1848(嘉永元年)			
	1849(嘉永2年)			
	1850(嘉永3年)			・嘉永開(糸島郡)*5
	1851(嘉永4年)			・高田堰(糟屋郡、灌漑面積30町)*5
	1852(嘉永5年)			・暴風雨で塩浜海岸の堤防破壊(糟屋郡)*5
	1853(嘉永6年)	・ペリー浦賀来航		
	1854(安政元年)	・日米和親条約		
	1855(安政2年)	・江戸大地震(安政の大地震)		
	1856(安政3年)			
	1857(安政4年)			・白門井手の修繕(嘉穂郡)*5
	1858(安政5年)	・日米修好通商条約		・塩浜堤防工事竣工(糟屋郡、40町)*5
	1859(安政6年)			
	1860(万延元年)	・桜田門外の変		
	1861(文久元年)			
	1862(文久2年)			・文久新地(京都郡、62町)*5
	1863(文久3年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	福岡県の歴史	福岡県の水土整備の歴史
	1864(元治元年)	・禁門の変、第1次長州征伐		
	1865(慶応元年)			・大原開(浮羽郡)、妙見開(八幡市)*5
	1866(慶応2年)	・薩長同盟、第2次長州征伐		・苅田新開(文久新田)(京都郡、63町)、井口池(京都郡)*5
	1867(慶応3年)	・大政奉還、王政復古宣言		
	1868(慶応4年)	・鳥羽・伏見の戦い(戊辰戦争起こる)		
	1868(明治元年)	・明治維新		
	1869(明治2年)	・東京遷都 ・版籍奉還 ・開拓使設置		
	1870(明治3年)	・勸農局(翌年、開墾局に改称)を設ける		
	1871(明治4年)	・戸籍法を定める ・廃藩置県 ・田畑勝手作許可	・福岡・三潴・小倉県に編成	
	1872(明治5年)	・田畑売買禁止の解除		
	1873(明治6年)	・徴兵令・地租改正条例を公布 ・内務省設置		
	1874(明治7年)	・北海道屯田兵制度を設ける		
	1875(明治8年)			
	1876(明治9年)		・現在の福岡県域が確定 ・秋月の乱起こる	
	1877(明治10年)	・地租軽減(地価の3%から2.5%に) ・西南戦争		
	1878(明治11年)			
	1879(明治12年)	・国営安積疏水猪苗代湖開墾事業に着工(~'82)		
	1880(明治13年)	・区町村会法制定施行		
	1881(明治14年)	・農商務省設置 ・大日本農会創立		
	1882(明治15年)	・日本銀行開業		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	福岡県の歴史	福岡県の水土整備の歴史
明治時代	1883(明治16年)			
	1884(明治17年)			
	1885(明治18年)	・太政官制を廃止(内閣制度を樹立)		
	1886(明治19年)			
	1887(明治20年)	・石川県石川郡上安原村で石川式区画整理を開始		
	1888(明治21年)	・市制及び町村制を公布		・土木組合池(築上郡)*2
	1889(明治22年)	・大日本帝国憲法発布 ・東海道本線全通		
	1890(明治23年)	・水利組合条例・公有水面埋立法公布		
	1891(明治24年)	・濃尾大地震		
	1892(明治25年)	・耕地面積、田2,805,212ha、畑2,307,956ha、計5,113,168ha		・田106,650ha、畑48,737ha、計155,387ha
	1893(明治26年)			
	1894(明治27年)	・日清戦争(～'95)		
	1895(明治28年)			
	1896(明治29年)	・河川法制定		
	1897(明治30年)	・砂防法・森林法を公布		
	1898(明治31年)			
	1899(明治32年)	・耕地整理法公布		
	1900(明治33年)			
	1901(明治34年)		・官営八幡製鉄所第1溶鉱炉火入れ	
	1902(明治35年)	・日英同盟成立 ・北海道土巧組合法公布		
1903(明治36年)				
1904(明治37年)	・日露戦争(～'05)			
1905(明治38年)	・耕地整理法改正(灌漑排水の追加)			
1906(明治39年)				
1907(明治40年)	・耕地整理研究会(後の農業土木学会)発足			
1908(明治41年)				

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	福岡県の歴史	福岡県の水土整備の歴史
	1909 (明治42年)	・耕地整理法改正(開墾・地目変換を認め、耕地整理組合を法人化)		
	1910 (明治43年)	・韓国併合		
	1911 (明治44年)		・九州帝国大学創設	・蒲池山池(山門郡)*2
大正時代	1912 (大正元年)			・豊浦池(京都郡)*2
	1913 (大正2年)	・北海道大冷害		
	1914 (大正3年)	・第一次世界大戦勃発 ・耕地整理法改正(目的に埋立・干拓を追加)		
	1915 (大正4年)			
	1916 (大正5年)			
	1917 (大正6年)	・米価高騰		
	1918 (大正7年)	・富山県下で米騒動、以後1道3府32県に波及	・福岡県下でも門司市を皮切りに、米騒動おこる	
	1919 (大正8年)	・都市計画法公布		
	1920 (大正9年)	・第1回国勢調査実施(総人口7698万人、内地5596万人)		・小森江池*2
	1921 (大正10年)	・米穀法公布		
	1922 (大正11年)			
	1923 (大正12年)	・関東大震災		
	1924 (大正13年)		・九州鉄道の福岡・久留米間開業	
	1925 (大正14年)	・普通選挙法(男子)公布		
1926 (大正15年)	・自作農創設維持補助規則制定公布		・善蔵寺池(八女郡)*2	
	1926 (昭和元年)			
	1927 (昭和2年)	・金融恐慌起こり、休業銀行続出 ・丹後地震		
	1928 (昭和3年)	・普通選挙による最初の衆議院議員総選挙		・岡平池改修*2
	1929 (昭和4年)	・世界的経済大恐慌 ・農業土木学会(後の農業農村工学会)創立	・この年、県下で大旱魃	・弁天瀧干拓潮止(大和村)*2
	1930 (昭和5年)	・昭和恐慌		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	福岡県の歴史	福岡県の水土整備の歴史
		・農業恐慌、農村の危機深刻化する		
	1931(昭和6年)	・満州事変起こる ・北海道、東北に冷害、未曾有の大凶作		・永田・谷垣両干拓災害復旧完成*2
	1932(昭和7年)	・第1次上海事変 ・5.15事件 ・時局匡救耕地関係農業土木事業発足		・安原用水改修*2 ・橋本干拓復旧*2 ・弁天潟干拓竣工*2
	1933(昭和8年)	・国際連盟脱退 ・米穀統制法公布 ・三陸地震大津波		
	1934(昭和9年)	・満州国帝政実施(皇帝溥儀) ・室戸台風		
	1935(昭和10年)			
	1936(昭和11年)	・2.26事件		・花宗用水改良事業着工(~'51)
	1937(昭和12年)	・廬溝橋事件(日中戦争開始)		
	1938(昭和13年)	・国家総動員法公布 ・農地調整法公布		・本庄池用水改良事業着工(~'48)
	1939(昭和14年)	・第2次世界大戦はじまる		
	1940(昭和15年)	・米穀管理規則により統制		
	1941(昭和16年)	・農地開発法公布、農地開発営団設立 ・太平洋戦争開始		・福地山用水改良事業着工(~'53)
	1942(昭和17年)	・食糧管理法公布(供出配給強化)	・関門鉄道トンネル開通	
	1943(昭和18年)			
	1944(昭和19年)			
	1945(昭和20年)	・広島、長崎に原爆投下 ・ポツダム宣言受諾、終戦 ・緊急開拓事業実施要領制定	・福岡市大空襲	
	1946(昭和21年)	・農地改革 ・自作農創設特別措置法制定 ・農地調整法改正		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	福岡県の歴史	福岡県の水土整備の歴史
昭和時代		・地方農地事務局設置		
	1947(昭和22年)	・日本国憲法施行 ・農業協同組合法公布		
	1948(昭和23年)	・建設省設置		・鳥飼排水改良事業着工(～'49) ・塩塚川排水改良事業着工(～'55)
	1949(昭和24年)	・土地改良法公布 ・ドッジ勧告による均衡予算実施		
	1950(昭和25年)	・朝鮮戦争勃発 ・国土総合開発法公布		・隈ノ上用水改良事業着工(～'51) ・竹馬川排水改良事業着工(～'54)
	1951(昭和26年)	・積雪寒冷地単作地帯振興臨時措置法公布		・大石用水改良事業着工(～'60) ・勝浦排水改良事業着工(～'54)
	1952(昭和27年)	・農地法公布		・国営三池干拓事業着工(～'67)※ ・一貴山排水改良事業着工(～'61)
	1953(昭和28年)	・北九州及び和歌山県に大水害	・県下に記録的な豪雨、大水害	・竹野用水改良事業着工(～'58) ・三潴用水改良事業着工(～'60) ・大西用水改良事業着工(～'63) ・元岡排水改良事業着工(～'62)
	1954(昭和29年)			
	1955(昭和30年)	・愛知用水公団、農地開発機械公団設立		
	1956(昭和31年)			・北三潴用排水改良事業着工(～'63)
	1957(昭和32年)	・八郎潟干拓事業開始		・東合川用水改良事業着工(～'62)
	1958(昭和33年)			・国営大和干拓事業着工(～'70)※ ・室見用排水改良事業着工(～'65)
	1959(昭和34年)	・伊勢湾台風		
	1960(昭和35年)	・所得倍增計画 ・食糧増産対策事業から農業基盤整備事業に名称変え		・那珂排水改良事業着工(～'66)
	1961(昭和36年)	・農業基本法制定 ・水資源開発公団法公布(設立は'62)		・椿市用水改良事業着工(～'69)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	福岡県の歴史	福岡県の水土整備の歴史
		・耕地面積、田3,414,000ha、畑2,719,000ha、計6,136,000ha		・田104,600ha、畑26,200ha、計130,800ha
	1962(昭和37年)			・水縄用水改良事業着工(～'66)
	1963(昭和38年)	・団体営圃場整備事業の創設	・5市合併により北九州市発足(政令指定都市)	
	1964(昭和39年)	・東京オリンピック ・八郎潟大潟村誕生 ・改正河川法公布		・呉用水改良事業着工(～'70) ・水資源機構営両筑平野用水事業着工(～'74)※
	1965(昭和40年)			・朝倉用水改良事業着工(～'69) ・久保白ダム用水改良事業着工(～'88) ・広川防災ダム事業(～'70)
	1966(昭和41年)	・土地改良長期計画(1次)		・切畑用水改良事業着工(～'75)
	1967(昭和42年)	・公害対策基本法公布		・名鶴大和用水改良事業着工(～'70) ・両筑平野用水改良事業着工 ・飛形農地開発事業着工(～'70)
	1968(昭和43年)			・古賀用水改良事業着工(～'80)
	1969(昭和44年)	・米の生産制限始まる(開田抑制措置) ・農業振興地域の整備に関する法律公布 ・農道舗装事業の創設		・前原排水改良事業着工(～'73) ・八女農地開発事業着工(～'73)
	1970(昭和45年)			・岩神用水改良事業着工(～'75) ・山口用水改良事業着工 ・城山農地開発事業着工(～'76) ・圃場整備筑陽地区・朝倉地区着工(県下第1号、～'75) ・広域農道第1南筑後地区着工(県下第1号、～'78)
	1971(昭和46年)	・政府米の買入制限導入 ・沖縄返還 ・環境庁発足		・小川用水改良事業着工 ・宮野農地開発事業着工(～'79)
	1972(昭和47年)	・土地改良法改正 ・農村基盤総合整備パイロット事業の創設	・福岡市、政令指定都市となる	・国営耳納山麓農業水利事業着工(～'93)※ ・江川ダム完成※
	1973(昭和48年)	・第一次石油ショック		・朝倉農地開発事業着工(～'79)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	福岡県の歴史	福岡県の水土整備の歴史
		・土地改良長期計画(2次)		
	1974(昭和49年)	・国土利用長期計画法公布 ・国土庁発足		・国営筑後川下流農業水利事業着工※
	1975(昭和50年)			
	1976(昭和51年)	・土地改良法改正		・三潴北部用排水改良事業着工
	1977(昭和52年)			
	1978(昭和53年)	・農林省、農林水産省に省名変更		
	1979(昭和54年)	・第二次石油ショック ・国営農地防災排水事業の創設		・国営筑後川中流農業水利事業着工(～'95)、 ・水資源機構筑後川下流用水事業着工(～'97) ・中牟田排水改良事業着工(～'82)
	1980(昭和55年)			・矢部川左岸上流用水改良事業着工 ・若市排水改良事業着工(～'84) ・大井排水改良事業着工(～'85) ・荷原農地開発事業着工(～'89)
	1981(昭和56年)	・食糧管理法の改正		・耳納山麓用水改良事業着工
	1982(昭和57年)			
	1983(昭和58年)	・土地改良長期計画(3次) ・日本海中部地震		
	1984(昭和59年)	・農業振興地域の整備に関する法律と土地改良法の改正 ・118品目の関税引き下げなど対外経済対策を決定		
	1985(昭和60年)			
	1986(昭和61年)	・21世紀へ向けての農政の基本方向		・矢部川左岸下流用排水改良事業着工
	1987(昭和62年)	・水田農業確立対策決定		・雷山大溜池用水改良事業着工 ・別府防災ダム事業
	1988(昭和63年)	・日米牛肉オレンジ問題、GATTでの紛争解決へ ・青函トンネル、瀬戸大橋開通		・国営筑後川下流(三潴)農業水利事業着工(～'94)※ ・筑後東部第一期用排水改良事業着工
	1989(平成元年)			・朝倉吉井用水改良事業着工

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	福岡県の歴史	福岡県の水土整備の歴史
平成時代				・床島用水改良事業着工 ・稲吉用排水改良事業着工
	1990(平成2年)			・合所ダム完成※
	1991(平成3年)	・農業農村整備事業と事業名変わる		
	1992(平成4年)			・大石用水改良事業着工
	1993(平成5年)	・環境基本法案決定 ・北日本中心に大冷害、作況指数74、冷害対策として米の緊急輸入		・国営椎田農地再編整備事業着工(～'01)※ ・国営有明海東部海岸保全事業着工※
	1994(平成6年)	・ウルグアイ・ラウンド農業合意関連対策大綱を決定		
	1995(平成7年)	・阪神・淡路大震災		
	1996(平成8年)			
	1997(平成9年)	・環境影響評価法(環境アセス法)公布		
	1998(平成10年)	・中央省庁等改革基本法成立		
	1999(平成11年)	・食料・農業・農村基本法成立		
	2000(平成12年)	・食料・農業・農村基本計画閣議決定		
	2001(平成13年)			
	2002(平成14年)			
	2003(平成15年)			
	2004(平成16年)	・中越地震		
	2005(平成17年)			・水資源機構営両筑平野用水二期事業着工※
			・耕地面積、2,556,000ha、畑2,136,000ha、計4,692,000ha	・田69,800ha、畑20,100ha、計89,900ha
	2006(平成18年)			
	2007(平成19年)	・中越沖地震		
2008(平成20年)	・岩手・宮城内陸地震		・国営筑後川下流左岸農地防災事業着工※	
2009(平成21年)				
2010(平成22年)				
2011(平成23年)	・東日本大震災 3.11 東北地方太平洋沖地震(死者・不明者18,617人(H24.11.14警察庁)、津波による農地の流失・冠水等被害推定面積23,600ha(H23.3.29農林水産省))			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	福岡県の歴史	福岡県の水土整備の歴史
	2012(平成24年)			
	2013(平成25年)			

<参考文献>

- *1 「疏水百選」(2006年)(全国土地改良事業団体連合会)
 - *2 「日本水利施設進展の研究」(1958年)(牧 隆泰著、土木雑誌社)
 - *3 「明治前日本土木史」(1956年)(日本学術振興会、日本学士院日本科学史刊行会)
 - *4 「農業土木史」(1979年)((社)農業土木学会)
 - *5 「明治以前日本土木史」(1936年)(土木学会編、岩波書店)
- ※ 「各地方農政局ホームページ」等より抜粋
- なお、「水土整備の歴史」欄で無印の事業等は「土地改良三十五年の歩み(福岡県)」(1993年)より抜粋
また、福岡県の歴史は「福岡県の歴史」(1997年)(山川出版社)より抜粋